



宇治市議会議員 Kenichi Hirata

ひらた研一

市議会ニュース Vol.02

平成9年4月25日 第3種郵便物認可



PRESS MINSHU

号外

2004.02.19

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL.03-3395-9988(代表)
http://www.dpj.or.jp

ひらた研一事務所
宇治市木幡南山 15-200
TEL&FAX: 0774-33-8199
E-mail: hira@wao.or.jp
http://www.wao.or.jp/hirata/

自立と共生社会の実現

早いもので、2004年が始まりすでに2ヶ月が過ぎようとしています。昨年を振り返れば、私の人生にとって重大な意味を持つ1年でありながら、本当にあわただしく過ごしてしまったような気がします。

昨年2月、政治に直接関わる事を決意して、市議選に立候補、1,823票もの信託を頂戴し初当選、市議会へ送っていただきました。この感激は忘れられません。

無我夢中で始めた政治活動、なんとなく活動のリズムをつかみ掛けた、年の暮れの12月18日、未だに信じられない、宇治小学校での不幸な事件、数え切れないほど多くの方から激励のお言葉をいただきました。心より感謝いたしております。

政治活動を始めてから、この間、初志を忘れた事は在りません。このタイトルこそが、私の政治活動の原点であり目標です。

現代に生きる一人の人間として自分の人生に最善を尽くす事は当然ながら、自らの想いを託す人を決めて応援するのと、自らが多くの想いを託されるのとは全く違います。

出来るだけ多くの方の意見を聞く事が求められています。しかし、その結果、自分の軸足を見失う事もありました、大きな反省点です。

「自立と共生社会の実現」には、市民参加のまちづくりが前提です。具体的には、市民自らが意思表示をする事だと考えています。

直接発言することが最も望ましいことですが、機会が少なければ、代弁者である政治家に託せばいいことです。声を上げる場を公式に用意されているのが議員なので、結果についても共同で責任を持たなければなりません。

今後、宇治市(日本も同じ)の財政は、ますます厳しくなることが確実です。限られた予算、優先順番を決めることが求められています、その判断を誤ってはなりません。

みなさま、是非、声を上げ続けて下さることをお願いいたします。

やっと1年! あっという間の一年! 大きな違いがあると考えています。今年1年、初志を忘れず頑張ってください。

ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

活動日記

(2003年7月~12月)

page1

7月

- 3日 6月定例会最終日 議会だより編集委員会
- 8日 宇治市都市景観審議会傍聴
- 12日 宇治市社会福祉大会
- 14日 市立幼稚園陳情
- 15日 大久保児童相談所視察
- 22日 議会だより編集委員会 会派会議
- 23-25日 市環・行政視察(青森県)
- 30日 議会だより編集委員会

8月

- 1日 植物園サマーフェスティバル
- 2日 (黄檗)自衛隊懇親会
- 10日 京都第二外環開通式 痴呆予防講演会
- 15日 宇治市平和祈念式典

- 17日 笠取慰霊祭
- 18-20日 会派・行政視察(山形県)
- 25日 市環常任委員会
- 26日 会派勉強会(男女共同参画・建設・保健福祉他)
- 29日 あさぎネットワーク会議(男女共同参画社会)

9月

- 13日 宇治市防災訓練 まちづくり学習会(車田集会所)
- 14日 山井和則衆議員講演会(宇治・木津)
- 15日 宇治市敬老会
- 17日 9月定例会・開会(会期10月8日迄)
- 19日 議会・議員全員協議会
- 20日 まちづくり学習会(東宇治コミセン)
- 23日 福祉講演会「痴呆の人を地域で支える」
- 25-29日 議会・一般質問

page2

平田研一

10月

- 2日 市環常任委員会
- 8日 9月定例会最終日 議会だより編集委員会
- 14日 菅直人民主党代表街宣(宇治)
- 15日 敬老の集い(東宇治コミセン)
- 18日 宇治田楽まつり(塔の島)
- 19日 田中康夫長野県知事街宣(宇治)
- 26日 木幡公民館まつり/manifesto討論会(宇治)
- 28日 衆議院選挙公示(山井和則候補出陣式) 10月28日~11月8日 選挙応援

11月

- 5日 議会だより編集委員会
- 9日 うじ安心館竣工式典 投票:山井和則さん当選
- 11日 農業生産団体連協との懇親会

- 12日 宇治市戦没者追悼式(文化センター)
- 15日 東宇治コミセン文化祭「ふれあいまつり」
- 17-18日 議会だより行政視察(広島県)
- 23日 宇治市技能功労者表彰式
- 26日 臨時議会開会

12月

- 3日 市立幼稚園音楽発表会(文化センター)
- 4日 12月定例会・開会(会期12月25日迄)
- 8日 議会・議員全員協議会
- 10日 来年度の会派予算要求
- 11-15日 議会一般質問 ひらた研一一般質問
- 18日 市環常任委員会/宇治小事件
- 24日 議会・議員全員協議会
- 25日 12月定例会最終日



民主党京都府連会長
参議院議員

福山哲郎

『マニフェストの責任者』

旧年中は統一地方選、衆院選と厳しい戦いが続く中、暖かい大きなご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

おかげさまで、統一地方選での平田研一議員の初勝利に引き続き、衆院選においても、京都では比例第1党の得票をいただき、小選挙区でも山井和則議員の当選をはじめ、4議席を獲得でき、感謝とともに責任の重さを痛感しています。

平田研一議員は宇治市議会において期待通りの仕事をされており、久保田市政の中心議員として活躍されています。

京都での自共政治は名実ともに終わりを迎え、二大政党時代に突入したのではないのでしょうか。京都では、今や自民党を凌駕し、6人の国会議員の仲間が活躍をされています。とはいえ、全国的には政権交代には至らず、とても悔しく残念な思いです。衆議院 177議席、参議院 69議席を擁する野党第一党として、いつ

でも政権を担えるという気がまえと政策を持ってさらに一層政権を目指していきたいと思えます。

私、福山哲郎は、走り続けてきた1期6年があっという間に過ぎようとしています。ご支援いただいた皆様に心から感謝です。先の総選挙でマニフェスト委員会の事務局長としてマニフェストの策定に関わらせて頂きました。マニフェストは、一過性に終わらせてはいけません。それぞれの政策の法案化をはじめ、国民との対話の中でマニフェスト全体の進化を図っていくつもりです。

国会では、ライフワークである環境問題に取り組み、多くの議員立法にたずさわりました。また、何度もCOP1に参加し京都議定書の批准にも努力してきました。一方「政治とカネ」に関しては鈴木宗男議員、大島農水相の追及をはじめ論文等も発表させて頂きましたが、信頼される「新しい政治文化を創りたい」という思いはますます強くなるばかりです。財政、金融その他数々の課題も、すべてに、まだまだ道半ばであり、近い将来、与党の一員として仕事をさせていただきたいと願っています。平田研一議員、山井和則議員の当選の勢いをいただき、京都選挙区は福山哲郎に今後ともご指導の程何卒よろしくお願い致します。

平田研一議員のますますのご活躍と皆様にとりまして本年が素晴らしい1年になりますようご祈念申し上げます。

質問項目	具体的な質問内容	答 弁
市民参加のまちづくりの前提について 『宇治市第4次総合計画』でうたわれている、本市の基本理念「みどりゆたかな、住みたい、住んでよかった都市」を実現していくためには、市民の参加と連帯による地域社会づくりが不可欠であり、行政情報の自発的または義務的開示・公開が必要	宇治市の情報開示状況及び受発信機能について ・ 公文書の情報提供について ・ インターネット上での公開請求 ・ ホームページの運営状況 ・ 市民端末の利用状況 納税者である市民が興味あるのは、市の財務状況であり役に立つ情報、バランスシート（貸借対照表）に法定会社と外郭団体と合わせた連結バランスシートの作成及び個々の施策別行政コスト計算書を来年度には作成予定との事、同時にホームページでの公開も要望 「市民と行政の協働型市民参加」へ転換していくためには、情報の受発信機能の充実と共用化が前提	・ 平成 10年 4月、情報公開制度発足当時より所属別の公文書目録を公開、当市の請求件数が少ないのは情報提供をすることにより目的が達成し、公開請求に至らないケースが多い事も一因、現在国の情報公開法施行に伴い利用しやすいように公開請求者の基準も見直す ・ 電子情報の取り扱いに係る制度上の問題、文書の改ざん防止に係るシステム面の問題など課題が多く検討中 ・ 全般的な運営管理は、IT推進課と広報課、各所属がコンテンツを行う事になっているが、運営面において不十分と認識、今後専門家の指導助言も検討、魅力あるホームページ作りに努める ・ 市民端末は地域イントラ事業の一環、平成 14年 6月から約5千人の利用、今後も利用しやすい環境づくりに努める
痴呆予防教室について 開設した教室 ・ 東宇治地域福祉センター ・ 城南荘集会所 ・ 平盛ディサービスセンター	痴呆性老人・若年痴呆者の推測数及び募集方法について 少子高齢化は予想以上のスピード、介護予防は介護保険料の抑制につながる 若年痴呆者数は、他事例での数値を当市に置き換えると40人～60人と推測される、現に困っている方がおられることを踏まえ、医療と福祉の境界が明確でないという実情はあっても市としての配慮は必要	痴呆予防については総論としての要望は強いが具体的個別対応に結びつけるには、人権についての配慮、家族の理解、協力が得られる環境づくりが不可欠、今後もより多くの方が教室に参加できるよう募集方法を工夫する 65才以上の痴呆性高齢者数は、当初 4.8%、1425人としていたが、近年の研究結果を踏まえ、2100人程度と推計
	痴呆予防教室の効果について 「前期痴呆は予防できる」ということの啓発が重要と共通認識	東宇治教室が 11月 18日に終了 12名参加中、中途終了 3名、MMSテスト結果によると 5名が改善、MMSテスト以外の結果、アルツハイマー型痴呆の方を除いて全ての方に変化が見られた（家事に参加、会話が増えた、表情が柔和など、対人面や生活面で積極的になった等）
	痴呆予防教室の卒業生のフォローについて	ディサービス利用者の方へのフォローは、家族やケアマネジャー、ディサービスの職員、主治医に教室での状況報告を経て今後のケアの方向性について検討中、他の方は B型リハビリやふれあいサロンなどへ紹介、また教室に参加していた看護師が家庭訪問し定期的に状況把握
	事業の継続性について	来年度以降も、総意工夫し実施
	ボランティアスタッフの教育について	会場ごとに教室実施前にボランティア研修会を開催、教室終了後毎回ミーティングを実施 地域づくりという観点から、地域の方々に痴呆も含めた介護予防を啓発していくため、現在市内 3会場で介護予防講座を開催
先の衆議院選挙について 当市の投票率 55.95% 有権者の参政権の軽視を危惧、投票棄権防止の啓発活動費用も税金です	低投票率に終わったが選管の行なった広報活動の具体的内容について 投票所のバリアフリー化と明るい雰囲気作りを要望 無効票の取扱いについて 府選管からの文書によると ・ 自由党と記入があれば自由民主党の誤記となり有効 ・ 民社党と記入があれば誤記となり無効	明るい選挙推進協議会委員による駅頭啓発、期日周知のポスター・看板の掲示、広報車による広報や新聞折り込み広告 前回の選挙とほぼ同様の啓発で経費は、約180万円（前回は約120万円） 質問の文書は府選管から 11月 7日（投票前日）に市選管へ送付されたもので、開票所における開票参考資料であると考えている 投票用紙への記載は、氏名掲示に記載されているとおりフルネームで記載してくださいと啓発する事が基本

視察報告 1

市民環境常任委員会 視察

7月 23日～25日
(青森県: 弘前市・十和田市・八戸市)

弘前市: 企業立地の促進、資源・環境プロジェクト活動について

弘前オフィス・アルカディアは「新産業文化業務拠点」構想として地域公団が「地方拠点法」に基づき、オフィス・研究所等の地方の受け皿としている団地、全国 10箇所のひとつ、2年が経過した段階で2割強が分譲済み。

十和田市・八戸市の中心市街地活性化の現状について聞き取り調査

空き店舗 3割、キーワードは「街づくりを市民の手で」特効薬はありません、皆さん苦労されています。

視察報告 2

民主市民ネット会派 視察

8月 18日～20日
(山形県: 山形市・長井市・米沢市)

会派視察は幹事として企画、どうしても視察に行きたかったのが長井市のレインボープラン。

レインボープランとは、農家と消費者が協力して地域循環システムを創り、有機資源のリサイクルを図ることで、自然環境の改善と健康な食生活を生み出し、自然と人間の持続的な共存を図って生きたいと考え、市民全体で取り組んでいる事業「生ゴミが生まれ変わるまで」。(詳しくは、HP長井市レインボープランをご覧ください。)

視察報告 3

議会だより編集委員会 視察

11月 17日～18日
(広島県: 呉市・尾道市)

宇治市では、定例会議ごとに年 4回発行している「議会だより」の編集委員の行政視察。呉・尾道市の発行形態及び記載内容について聞き取り調査。

自治体によっては編集作業に議員はほとんど関与していない、また広報誌（市政だより等）のひとつのコーナーとして議会活動を報告している自治体もありました。

「議会だより」は、市民の皆様へ政治を身近に感じてもらうための大事な手段の一つだと思っておりますが、.....

編集後記

第 2号の内容はいかがでしたでしょうか？

前号と同じく文字が多い、地元課題がまったく無い等のご批判が目につきます。

次号こそは、改善する予定です。

第 1号からかなり間隔が空いてしまいました。言い訳をすると、昨年は公私共あまりに沢山の出来事がありました。

頭と心の整理が出来ないままに時間だけが過ぎてしまいました。

大いに反省し、今年は地に足の着いた活動を行います。

その為にも、皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。

*公職選挙法により、選挙区内での年賀状は禁止されています。その為、宇治市の方々には年賀状を出せませんでした。失礼をお許しください。